



文化博物館だより 第273号

2009年5月21日

みなさん、こんにちは。春季特別展が閉幕し、早くも次の展覧会が開幕しています。

● 春季特別展、閉幕

10日(日)午後5時半過ぎ、最後のお客様が館を後にされ、春季特別展が閉幕。明石公園の桜の開花と時期があいまって、開幕当初から多くの方にご来場いただきました。会期後半には、連日500人を超える入館者があり、のべ17,405人の方々に日本画の巨匠達の作品をお楽しみいただきました。ありがとうございました。
なお、この展覧会は駿府博物館(静岡県)と高岡市美術館(富山県)へ巡回します。



● 正井和行展、開催中です



郷土作家・正井和行の展覧会が開催中です。開催を記念して、ゆかりの方々にお集まりいただき、お話を伺う機会がありました。

明石に生まれ、京都で絵を学び、病氣療養のため、一時期、大分に住んだ正井和行画伯。食が細く、肉や魚をあまり口にできなかったこと、少々潔癖なところがあったことなどが、生前の画伯を知る方々から明かされました。

正井作品の並んだ展示室は、静けさに満ちた空間となっています。5月も半ば、陽光が強さを増す季節から切り離されたその世界を、どうぞご堪能下さい。

● 新型インフルエンザ

『正井和行展』が開幕した5月16日(土)に、神戸市で国内初の新型インフルエンザの感染者がでたことは、みなさんすでにご存知と思います。

その後、明石市内でも感染者が確認されたため、市内の学校などの休校や23日と24日に予定されていた明石原人まつりの中止が決定されています。文化博物館でも、23日に予定していたギャラリートークを中止することになりました。

館内にうがい・手洗いの実施をよびかける案内や新型インフルエンザに関する情報の掲示を行っています。来館された方は、受付前にアルコール消毒液が設置してありますので、ご自由に使って下さいね。



受付前にあります

見えない敵(インフルエンザ)に負けないためには、マスクも良いですが、体調を整えておくのが一番。そのあなた、五月病にかかっていますか?! 頑張りすぎないで、気分転換をしながら参りましょう!